

MTDLP 事例発表会における発表者の皆様へ

*以下、よく読んでご準備お願いします。

1. MTDLP 事例発表会の目的

- 1) MTDLP を用いた事例発表を通してその使い方を理解する。
 - 2) 事例発表・事例検討を通して
 - ①生活行為に焦点をあてた介入方法を学び、個別対応力を高める。②他職種等の連携方法を学び、作業療法士としてのマネジメント力を高める。③具体的な MTDLP 実践を学び、継続的な MTDLP の実践に努める。
 - 3) 事例発表することで、自己の介入を客観的に振り返る。
 - 4) 事例発表聴講・検討、事例発表することで生涯教育 MTDLP 事例報告の参考とし、実践に努める。
2. 日本作業療法士協会ホームページの事例報告登録システムより、事例報告書作成の手引き（生活行為向上マネジメント）をダウンロードし、熟読してください。
3. 対象者から、事例発表に関する説明と同意を必ず得て下さい（同意書の提出は必要ありません）。
4. シートは OT 協会ホームページの事例報告登録システムよりダウンロードして、使用して下さい。

発表用シート一覧

- ①一般情報シート（事例登録用）
- ②生活行為向上マネジメントシート（事例登録用）
- ③生活行為課題分析シート（事例登録用）
- ④社会資源情報シート（事例登録用）
- ⑤事例報告書（事例登録制度に準じて作成）
 - A) 題名・所属名・協会番号・氏名
 - B) 報告の目的：200 字以内
 - C) 事例紹介：400 字以内
 - D) 作業療法評価 600 字以内
 - E) 介入の基本方針 200 字以内
 - F) 作業療法実施計画 600 字以内
 - G) 介入経過 800 字以内 H) 結果 500 字以内
 - I) 考察 700 字以内 J) 文献 275 字以内

※管理上、①～⑤のシートそれぞれの、ヘッダー右上部にて協会番号・氏名を必ずご記入下さい。

発表当日のタイムテーブル・内容（例）

- 1) 1 事例当たりの所要時間は 45 分以上とする
 - ・事例発表・・・・・・・・・・・・ 15 分
(事例報告書に沿った発表、シート解説など)
 - ・質疑応答・・・・・・・・・・・・ 5 分
 - ・グループ（5 名以上）討議・・ 20 分
 - ・まとめ・・・・・・・・・・・・ 5 分
- 2) 原則として、発表者、MTDLP 講師、参加者合わせて 5 人以上 10 名以内を 1 グループとして、事例発表後グループディスカッションを行います。
- 3) MTDLP 講師 1 名以上の出席を必須とし、出席した MTDLP 講師が討議をまとめ事例報告登録にむけたアドバイスを致します。
- 4) 事前に「MTDLP 事例発表におけるチェックリスト」で自己チェックを行ってから発表の臨んで下さい。

※ 発表者は上記発表用シート①～⑤を各 12 部コピーして当日ご持参ください。

発表用シート提出方法（以下の留意事項を必ずご確認ください）

期限は研修会開催日 2 週間前（13 時まで）に、下記のメールアドレスまで送って頂くことで、申込み完了と致します。資料が期限までに整わない場合は、発表不可とさせていただきますのでご了承ください。

1. メールの件名に、第 1 回 MTDLP 教育部事例発表会など、発表会名を必ず記載して下さい。
2. メール本文に所属名・協会番号・氏名を必ず記載してください。
3. 事例発表資料提出先：kyouiku-bu@ot-hyogo.or.jp（教育部アドレス）